



JR毛呂駅南側の岩井踏切  
(昭和53年1月) (杉田幸夫さん提供)

踏切の向こう側に建設途中の埼玉医科大学病院が見られます。建物も現在と比べまだ少なく、写真左側には、刈り入れの終わった田んぼも見られます。

現在の風景



募集中

昭和50年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

タラバガニ



タラバガニは、漢字では「<sup>たらばがに</sup>鱧場蟹」と書きます。これは鱧の漁場と生息域が重なることに由来しています。そのため、鱧や鮭の網にタラバガニがかかるともありませんが、明治30年ごろまではそのまま投棄されていました。これを最初に利用したのが缶詰業者です。カニが缶の鉄と反応して黒くなる「黒変」を、硫酸紙に包み込んで缶を遮断するという、シンプルですが画期的な方法で解決し、絹と並んで外貨を稼ぐ花形産業へと成長させました。

タラバガニは11月から2月ごろがその旬で、茹でて食べられることがもっともポピュラーですが、焼きガニやしゃぶしゃぶにしてもおいしく食べられます。しかし、タラバガニは、カニといってもヤドカリの仲間、本来カニははさみをあわせて十本の足がありますが、タラバガニやハナサキガニなどのヤドカリの仲間は一番後ろの足が極端に小さく、えらを掃除するために甲羅の中に隠れてしまっているため見た目には、6本足で歩いているように見えます。

寒さも厳しくなり、鍋物が恋しい季節になりました。たまには、カニ鍋やしゃぶしゃぶなどをするのもいいかもしれません。



11月の毛呂山町は、行事が目白押しのものでした。流鏝馬祭りから始まり、ゆずの里ウォークまで毎週のように行事が行われました。広報係としては、広報紙を読んでくださる皆さんに少しでも行事の楽しさや臨場感を伝えようと一生懸命現場を駆け回っていました。少しでも雰囲気味わっていただければ幸いです。・・・。(1)

わがやのアイドル



田中ひよりちゃん  
(3歳)

おしゃべり大好き！  
おうた大好き！よくお姉ちゃんとおもちゃのマイクでうたっています。

最近では、英語のお歌もうたっています。見かけたら声をかけてください！



かのう 凌輔くん  
(2歳3か月)

元気いっぱいの凌輔は、何でもお兄ちゃん  
の真似をします。出来ない時は泣いてくやし

がる負けず嫌い！大きくなったら何になるのかな？優しい大人になってね。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。

☎・☎ 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線332

広報もろやま 12月20日号 No.832 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

■発行 毛呂山町 ■1部当り 29.0円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771

■編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口36,846人(−32人)  
【男18,387人(−32人) 女18,459人(±0人)】  
世帯15,673戸(−13戸)  
※平成21年12月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。